

一糸乱れぬ団結強化で 「6111ダイ改」=8万人合理化粉碎へ

支部間交流報告 新小岩で8支部 (3)



86. 6. 23

No. 2273

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二五三五六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

中曽根・国鉄当局は「分割・民営化」＝十万人首切りを既成事実化する「六一・一一ダイ改」を提案、それは基地統廃合を中心とした八万人合理化攻撃であり、七月中にも妥結強行しようとしている。このような情勢の中、組織と団結を強化する立場で六月十二日、十時より新小岩支部において本部・各支部より十九名、新小岩支部二八名の出席をもって開催され、大成功をおさめた。

支部間交流会の意義は大きい！

座長の本部・吉岡教宣部長より「今、開会のあいさつが行われた。」

次に本部を代表して、山口副委員長から国鉄をめぐる情勢、政府・当局や動労「本部」の間違った方針、また、動労千葉の役割など話され、今こそ動労千葉は一致団結し決起しなければならぬと訴えられた。

次に受け入れ支部を代表して、関支部長は「分割・民営化」阻止の闘い、二波のストを闘いぬいたスト拠点と拠点でない支部の組織的なアンバランスが生じている。そういう意味では支部間交流会の意義は極めて重要であり、交流会を通してさらに組織強化をはかり「分割・民営化」＝十万人首切り阻止に向け頑張り、との力強いあいさつがあった。

東部上映会の成功は、支部の 全力決起でかちとった

基調報告にたった清水書記長より、六・二東京東部上映会の取り組みの報告が行われ、何よりも三三〇名の大結集で全国上映運動の第一弾として成功がかけとられたこと、上映会までの経過として三週間に二五〇カ所、一五〇組合にチケット一三〇枚販売、これは支部・本部青年部・オルグ団の総決起で実現したもの。葛飾区労協・東部ブロック共闘会議の協力、東水労の組織参加、全通、都高教六支部、東交各支部、全造船石川島、東部労組、山谷労組等、の協力によって実現

したものであること。

そして、教訓化すべきものとして、地域の労働者に訴えることの重要性として、

- ①動労千葉の二波にわたるストライキの正義性とかちとった地平
- ②分割・民営化反対の声の結集軸と十一月ダイ改―第三波にむけた陣形の形成が必要である。
- ③そのためには、映画と合わせて物販の成功に向けて地域へうって出る。
- ④同日選挙に勝利しよう。

以上、提起し報告を終わりました。

動労千葉への支援・共感に 大きな自信をもった

午後から、映画「俺達は鉄路に生きる」全国オルグ団で活躍している三名より報告があり、主に都内の官公労・民間労組にも要請を行ったが、動労千葉の闘いに対し、各組合は違いがあっても真剣に話を聞き、とりわけ国鉄労働者から合理化によって人員削減され、労働強化の現状や当局の実体、そして真国労に対して心からの怒りを話され、それらに対し闘いを組織できないことへの不満を訴えている一方で、動労千葉の原則的な闘いに支援・共感が多くあり、反響の大きさに本当に驚き、自信を持ったという体験談がリアルに話された。

その後、各支部からの闘いが報告され、山口副委員長の総括答弁を受け、関支部長の音頭により、団結ガンバロー三唱し成功裡に終了した。

（新小岩支部通信員・発）